

公益社団法人 日本水産学会  
平成 25 年度第 7 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 26 年 2 月 8 日(土) 13 時 00 分～15 時 44 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学  
楽水会館鈴木善幸ホール(東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数  
総数 20 名、定足数 11 名
- 4 出席理事数 14 名  
(本人出席) 大越和加、金子豊二、河原栄二郎、黒倉 壽、佐竹幹雄、佐藤秀一、佐藤 實、東海 正、松山倫也、鷲尾圭司、和田時夫、渡部終五  
(途中出席) 桜井泰憲(第 3 号議案終了後 13 時 31 分に着席)、  
皆川 恵(第 9 号議案審議中 15 時 59 分に着席)  
(監事出席) 阿部宏喜、瀬川 進  
(幹事出席) 遠藤英明、宮本佳則、田代有里、大迫一史、塩出大輔  
(オブザーバー) 水澤寛太(第 12 号議案のみ出席、14 時 11 分に着席、14 時 41 分に退席)
- 5 議 案  
決議事項 第 1 号議案 「平成 26・27 年度役員(理事及び監事)候補者の決定」の件  
第 2 号議案 「平成 26 年度定時社員総会の日時及び目的である事項」の件  
第 3 号議案 「平成 26 年度事業計画」の件  
第 4 号議案 「平成 26 年度予算」の件  
第 5 号議案 「平成 25 年度日本水産学会論文賞の決定」の件  
第 6 号議案 「日本水産学会論文賞選考についての申し合せ事項一部改正」の件  
第 7 号議案 「平成 26 年度各種委員会委員長選出」の件  
第 8 号議案 「平成 26 年度各種委員会委員選出」の件  
第 9 号議案 「平成 26 年度日本水産学会秋季大会委託運業者」の件  
第 10 号議案 「平成 27 年度日本水産学会春季大会」の件  
第 11 号議案 「平成 25 年度資格喪失者」の件  
第 12 号議案 「水産学若手の会(特別委員会)設置」の件  
第 13 号議案 「法律顧問契約」の件  
第 14 号議案 「J-STAGE における日本水産学会誌の電子ファイル閲覧のフリーアクセス化」の件  
第 15 号議案 「“海の恵みと食料安全保障を考える国際シンポジウム”主催」の件  
第 16 号議案 「後援及び協賛」の件  
第 17 号議案 「入会承認」の件  
  
報告事項 第 6 回理事会以降の職務執行の状況  
その他

6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

渡部会長が定足数の充足を確認し、続いて本会議の議事進行について説明があった。また、東海総務担当理事からその詳細についての補足説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、渡部会長が議長となり、本会議の成立を宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「平成 26・27 年度役員(理事及び監事)候補者の決定」の件(別紙 1)

東海総務担当理事より、平成 26・27 年度役員(理事及び監事)候補者に関する説明があった。渡部会長からその詳細についての補足説明があった。審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致で別紙の通り決定した。

第 2 号議案 「平成 26 年度定時社員総会の日時及び目的である事項」の件

東海総務担当理事より、平成 26 年度定時社員総会の日時、場所及び目的である事項について説明があった。

開催日時：平成 26 年 3 月 29 日(土)13 時開始

開催場所：北海道大学水産学部(北海道函館市)

目的である事項：第 1 号議案 平成 25 年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

第 2 号議案 平成 26・27 年度役員(理事及び監事)選任の件

第 3 号議案 名誉会員推薦の件

審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

第 3 号議案 「平成 26 年度事業計画」の件(別紙 2)

東海総務担当理事より、平成 26 年度事業計画についての原案の説明があった。審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 4 号議案 「平成 26 年度予算」の件(別紙 3)

金子財務担当理事より、平成 26 年度予算についての原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 5 号議案 「平成 25 年度日本水産学会論文賞の決定」の件(別紙 4)

佐藤(秀)編集担当理事より、平成 25 年度日本水産学会論文賞の決定についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

第 6 号議案 「日本水産学会論文賞選考についての申し合せ事項一部改正」の件(別紙 5)

佐藤(秀)編集担当理事より、日本水産学会論文賞選考についての申し合せ事項一部改正についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第 7 号議案 「平成 26 年度各種委員会委員長選出」の件

東海総務担当理事より、平成 26 年度各種委員会委員長選出について説明があった。審議の結果、次の通り出席理事全員一致で可決した。

シンポジウム企画委員長 高木 力

水産政策委員長 八木信行

第 8 号議案 「平成 26 年度各種委員会委員長選出」の件

東海総務担当理事より、平成 26 年度各種委員会委員長選出について説明があった。審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 9 号議案 「平成 26 年度日本水産学会秋季大会委託運業者」の件

松山九州支部担当理事より、平成 26 年度秋季大会委託運業者について、数社の見積もりを検討した結果、トーヨー企画(株)に決定したいとの説明があり、審議の結果、出席理事全員一致でこれを可決した。

第 10 号議案 「平成 27 年度日本水産学会春季大会」の件

黒倉関東支部担当理事より、平成 27 年度日本水産学会春季大会について説明があり、引き続き支部幹事である東海理事からその詳細について補足説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で下記の通り可決した。

日 程：平成 27 年 3 月 27 日(金)～3 月 31 日(火)

場 所：東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区)

委員長：有元貴文

第11号議案「平成25年度資格喪失者」の件

東海総務担当理事より、平成25年度資格喪失者について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第12号議案「水産学若手の会(特別委員会)設置」の件

渡部会長より、水産学若手の会(特別委員会)設置に関する説明があった。また、東海総務担当理事からその詳細についての補足説明があった。さらに渡部会長より本議案に限り、若手の会の水澤会員をオブザーバーとして出席させる提案があり、出席理事全員の了承を得た後、以下の討議がなされた。

佐藤(實)理事「全国的な広がりはあるのか。」

水澤会員「現在、70名程度の賛同者がいる。平成26年度春季大会に向けて全国的な呼びかけを行なう予定である。」

桜井理事「どこまでを若手と考えるのか。」

水澤会員「議論中である。」

黒倉理事「会長直属の特別委員会と考えるとよいのか。会長を通じて、意見は理事会に上げられるのか。」

渡部会長「その通りである。この委員会からの意見は、会長を通じて行われる。」

桜井理事「別の学会でも自発的な勉強会の様な若手の会がある。支部レベルのみならず全国的な広がりを持つ事で、柔軟な意見交換の場としていただきたい。」

和田理事「若手だけでなく、交流を深める場として学会全体の活性化につなげてほしい。」

黒倉理事「支部活動を中心とするのは良い考えである。この方が、活動の自由度が高い。」

東海理事「全国規模で行うことは大変であり、支部での活動が容易である。また、様々な委員会や懇話会への参加もあり得る。」

桜井理事「春季、秋季の大会にシンポジウムなどを提案するなどして活動をお願いしたい。」

水澤会員「検討している。この春季大会でも、まずは支部単位で何ができるかを討議したい。」

鷺尾理事「女性会員の参加を意識的に進めてほしい。」

大越理事「院生、学生の参加はどうなっているか。水産学会の活性化と共に、学生会員のモチベーションを上げる為にも必要ではないか。」

水澤会員「女性会員及び学生会員の積極的な参加も検討している。」

金子理事「世代交代を柔軟にできる仕組みを検討してもらいたい。」

審議の結果、出席理事全員一致で特別委員会の設置を可決した。

第13号議案「法律顧問契約」の件

佐藤(秀)理事より、法律顧問契約について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第14号議案「J-STAGEにおける日本水産学会誌の電子ファイル閲覧のフリーアクセス化」の件

佐藤(秀)編集担当理事より、J-STAGEにおける日本水産学会誌の電子ファイル閲覧のフリーアクセス化について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第15号議案「“海の恵みと食料安全保障を考える国際シンポジウム”主催」の件

東海総務理事より、“海の恵みと食料安全保障を考える国際シンポジウム”主催に関する説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第16号議案「後援及び協賛」の件

東海総務担当理事より後援希望2件、及び協賛希望3件について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致で以下の後援及び協賛を可決した。

後援：女性研究者研究活動支援事業 総括シンポジウム

「海と供に生きる女性研究者たちの今。そしてこれから。」

主催 東京海洋大学  
共催 日本船用工業会 他2学協会  
日程 平成26年3月5日(水)  
場所 東京海洋大学品川キャンパス白鷹館1階講義室(東京都港区)  
希望 後援  
負担金 なし

IAA&CSJ Joint International Conference on Crustacea  
(国際ザリガニ学会・日本甲殻類学会合同国際学会)

主催 International Association of Astacology  
共催 The Crustacean Society  
後援 International Society of Invertebrate Reproduction and Development Brazilian Crustacean Society 他8学会  
日程 平成26年9月20日(土)・21日(日)  
場所 北海道立道民活動センター「かでる2.7」(北海道札幌市)  
希望 後援  
負担金 なし

協賛: 農学会・日本農学アカデミー共同主催シンポジウム  
「放射性物質の除染・汚染水漏洩の現状を問う！」

主催 農学会、日本農学アカデミー  
協賛 ワールドウォッチ ジャパン 他4団体  
後援 東京大学大学院農学生命科学研究科  
日程 平成26年3月9日(日)  
場所 東京大学農学部弥生講堂一条ホール(東京都文京区)  
希望 協賛  
負担金 なし

食品ハイドロコロイドセミナー2014

主催 食品ハイドロコロイド研究会  
協賛 化学工学会 他24学協会  
日程 平成26年5月22日(木)  
場所 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館鈴木善幸ホール(東京都港区)  
希望 協賛  
負担金 なし

第25回食品ハイドロコロイドシンポジウム

主催 食品ハイドロコロイド研究会  
協賛 化学工学会 他24学協会  
日程 平成26年5月23日(金)  
場所 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館鈴木善幸ホール  
希望 協賛  
負担金 なし

第17号議案「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

(報告事項)

第6回理事会以降の職務執行の状況

・総務関係

東海担当理事より、下記の報告があった。

1) 平成 24・25 年度支部幹事の変更

中国・四国支部 板倉 茂(中部支部へ異動) 本城凡夫(選出)

2) 日本学会議会員及び連携会員の候補者に関する情報提供

3) 日本農学会の平成 26 年度運営委員に木下滋晴会員を選出

・企画広報関係

佐藤(秀)担当理事より、平成 26 年 1 月 6 日(月)に企画広報委員会が開催され、平成 26 年 3 月 27 日(木)に勉強会「震災からの復興-水産研究にもとめられる視点-」を開催すると報告された。

・財務関係

金子担当理事より、下記の報告があった。

1) 平成 26 年度第 1 回日本農学会評議員会と分担金

229,650 円(分担金 = 30,000 円+基準会員数(3,993 人)× 50 円)

(昨年度は会員数 4,069 名で 233,450 円)

2) 平成 26 年度日本農学会シンポジウム実施(案)

・編集関係

佐藤(秀)担当理事より、下記の報告があった。

1) 日本水産学会誌の Editorial Board 設置の見送り

2) 日本水産学会論文賞の賞状を筆頭著者のみに授与

3) 日本水産学会誌の引用文献における和文雑誌名の略記は行わない。

4) Fisheries Science 誌の長中期戦略のためのワーキンググループについての説明

5) 複数責任著者の問題について引き続き検討する。

・学会賞関係

佐藤(實)担当理事より平成 25 年度各賞の受賞者の希望による業績題目の変更について、次の報告があった。

水産学進歩賞 二羽恭介

変更前 「培養・交雑と分子マーカー解析による養殖ノリの遺伝育種的研究」

変更後 「養殖ノリの培養・交雑と分子マーカー解析による遺伝育種学的研究」

・出版関係

金子担当理事より、平成 25 年度第 2 回出版委員会が平成 26 年 1 月 7 日(火)に開催され、次の報告があった。

1) 水産学シリーズの刊行状況と今後の予定

2) 平成 26 年度の委員会体制

・水産技術誌監修関係

和田担当理事より、水産技術誌 6 巻 2 号を平成 26 年 2 月 20 日に刊行予定であり、7 巻 1 号は平成 26 年 9 月頃に刊行予定であることが報告された。

・ベルソープックス関係

東海担当理事より平成 25 年 12 月 18 日(水)にベルソープックス委員会が開催されたことが報告された。

・国際交流関係

和田副担当理事より、平成 26 年 8 月中に開催される第 2 回日米英水産学会合同シンポジウムの講演者として、渡部会長、帰山雅秀会員、宮腰靖之会員、牧野光琢会員を派遣することが国際交流員委員会で承認されたことが報告された。また、平成 26 年 5 月 13 日(火)・14 日(水)に開催される第 2 回日中韓水産学会合同シンポジウムへの講演者を募集していることが報告された。

・水産政策関係

桜井担当理事より、委員長交代の経緯について報告があった。

・漁業・資源管理関係

桜井担当理事より、平成 26 年 3 月 27 日(木)にシンポジウム「北海道における海獣による漁業被害の現状と野生動物との共存」を開催することが報告された。

・水産利用関係

佐藤(實)担当理事より、平成 26 年 2 月 7 日(金)に平成 25 年度第 3 回水産利用懇話会委員会を開催したことが報告された。また、同日平成 25 年度第 2 回講演会「水産加工の震災後復興と新たな取り組み」を開催し、参加者 35 名であったことが報告された。

・水産増殖関係

佐藤(秀)担当理事より、平成 25 年度第 3 回水産増殖委員会及び平成 25 年度第 2 回講演会を平成 26 年 2 月 8 日(土)に開催予定であったが、天候により中止したことが報告された。

・水圏環境関係

鷲尾担当理事より、下記の報告があった。

- 1) 環境省から“海洋保護に関する重要海域の指定に関する意見募集があり、個別対応とした。
- 2) 水産環境保全委員会として災害後の沿岸環境について考えるシンポジウムを予定している。
- 3) 沿岸環境関連学会連絡協議会 第 29 回ジョイントシンポジウム「沿岸環境修復技術としての貝殻利用の最前線～物質循環の促進向上に向けて～」を平成 26 年 2 月 9 日(日)に開催する。

・将来計画関係

和田担当理事より、日本水産学会の将来計画検討へ向けた論点整理についての報告があった。

・支部関連

渡部会長が嵯峨理事(北海道支部担当)の報告を代読し、次の報告があった。

- 1) 平成 25 年度北海道支部大会(平成 25 年 12 月 20 日(金))を開催(発表 33 題、参加者 85 名)
- 2) 支部幹事会、支部総会、若手の会企画講演会(平成 25 年 12 月 21 日(土))を開催
- 3) 公開シンポジウム((平成 25 年 12 月 21 日(土))を開催(発表 12 題、参加者 97 名)
- 4) 平成 26 年度春季大会開催準備状況(口頭発表 581 件、ポスター発表 257、高校生による研究発表会 27 件、シンポジウム 3 件、ミニシンポジウム 3 件、講演会 1 件、勉強会 1 件、関連行事 6 件、協賛 6 件、展示 9 件、広告 6 件)

松山理事(九州支部担当)より次の報告があった。

- 1) 平成 25 年度九州支部総会及び大会(平成 26 年 1 月 11 日(土))を開催(高校生による口頭発表 4 題、一般発表 10 題)
- 2) 平成 26 年度秋季大会の準備状況について

・科研費分科細目等検討関係

桜井副会長より、次回理事会までに整理することが報告された。

・東日本大震災災害復興支援検討委員会関係

渡部会長より、次回委員会を平成 26 年 3 月 8 日(土)に開催予定であることが報告された。

・日本農学会運営委員会関係

金子理事より、日本農学会評議委員会が平成 26 年 1 月 24 日(金)に開催され、會田勝美元会長が次期の日本農学会副会長に決定したことが報告された。

その他

・学会賞受賞者講演の座長と会場係について

東海総務担当理事より、学会賞受賞者講演の座長と会場係について説明があり、担当を確認した。

・次回理事会の開催について

渡部会長より、次回平成 26 年度第 1 回理事会は平成 26 年 3 月 8 日(土)13 時から、国立大学法人東京海洋大学で開催する予定である旨確認があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15 時 44 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長(代表理事)及び監事は記名押印する。

平成 26 年 2 月 8 日  
公益社団法人 日本水産学会

議長 会長(代表理事)

監 事

監 事